

雪若丸ごはん
照焼きハンバーグ
ひじきんぴら
あさりのみそ汁

ほぼ日刊 夢の華 Cカ a r a t

第821号

神町中学校 夢色通信社
令和3年2月26日

山形新聞 少年少女の声（2月23日より）



今がつらくても頑張れ 3年 今 悠斗

私は2年生の1月から3年生の9月まで、毎朝駅伝の練習を続けてきました。しかし、目指してた地区大会はもとより、9月の県大会までコロナの影響でなくなってしまいました。正直、とてもつらい思いをしました。

私は野球部に所属していましたが、走ることは嫌いではありませんでした。大会があるのか、内心は、ないかもしれないと思いながら、駅伝の練習を続けてきました。走ることが好きだったし、選ばれた以上、最後までやりとげたいと思い駅伝の練習を続けてきました。

大会に出ることはありませんでしたが、良かったと思うことがあります。1つ目は、野球部の代表として、学校の代表として、部や学校の仲間から応援してもらったことです。これは、とてもうれしいことでした。2つ目は、苦しくても最後まであきらめない、くじけない気持ちが身についたことです。野球の試合で負けていても、あきらめなくて、先頭に立って引っ張っていくことができるようになりました。1、2年生のみなさんは、試合もできず、つまらない日が続いているかもしれません。でも、今、しっかり練習を続け体幹をしっかり鍛え、基本的な技術・体力をつけていくことが今後の大会での活躍につながっていくと思います。そして、今の練習が、高校など将来につながっていくと思います。今がつらくても、頑張っ

やり遂げる大切さ学ぶ

3年 東海林恵愛

今、中学校ではスポーツの大会がほとんど中止となり、練習試合さえもできない状況が続いています。部活動がつまらないと思っている人も多いのではないのでしょうか。

新型コロナウイルスが流行し先が見えない中、私は駅伝選手に選ばれて大会に向けて練習をしていました。結局大会はないまま、練習は終わってしまいました。しかし、最後まで練習を積み重ねたことで自分が頑張った分、たくさんの力が身についたと思います。走る力、スタミナ、仲間と協力する力などです。私はあきらめるのが早くてものごとを途中で投げ出してしまうことが多くありました。しかし、駅伝の練習を通して、最後までやり遂げることの大切さを教えられました。そして、毎日の練習を通して新たな目標ができました。それは、駅伝を続けるという目標です。

頑張れば頑張っただけ、すべては自分の力になります。後輩の皆さん、最後まで自分の夢や目標をあきらめず、これからの練習を頑張ってください。

